

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シダー
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 嘉忠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松尾 剛

TEL 093-513-7855

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,148	—	393	—	383	—	205	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 205百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	35.85	—
23年3月期第3四半期	—	—

(注) 当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第3四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	11,737	1,398	11.9	243.79
23年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,398百万円 23年3月期 100百万円

(注) 当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,666	—	505	—	437	—	262	—	45.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません、株式会社パインを当第3四半期より連結子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	5,738,000 株	23年3月期	5,738,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	5,738,000 株	23年3月期3Q	5,738,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、当第3四半期連結会計期間に子会社を取得したため、第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しており、通期の業績予想についても、連結業績予想を記載しております。
2. 本資料に記載しております業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、前年同四半期との比較分析の記載はおこなっておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原子力発電所の再稼働問題を原因とした電力供給不安による経済活動の停滞、米国景気の減速、欧州の金融不安によるダブルの円高、さらには中東問題による原油供給の先行き懸念により、見通しは非常に厳しい状況となっております。

介護サービス業界においては、〔キャリアパス制度〕等の介護職員の雇用条件の改善策が進むなか、平成24年4月の介護保険制度の見直しが公表されました。また、財政負担の財源問題などの『社会保障と税の一体改革』が、政・官・民ともに活発に議論されております。

このような状況のもと当社におきましては、収益面では、既存施設において施設稼働率を上昇させるため、新規利用者の獲得とサービスの向上に努めました。利益面では、効率的な施設運営と経費削減に取り組むことで利益率の改善に注力しました。また、デイサービス事業において認知症対応型デイサービス1施設、施設サービス事業において有料老人ホーム2施設を新規開設し、さらに、平成23年10月には有料老人ホーム2施設を運営する子会社を買収するなど、積極的に営業活動を展開しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は71億48百万円となり、営業利益は3億93百万円、経常利益は3億83百万円、四半期純利益は2億5百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① デイサービス事業

当セグメントにおきましては、既存デイサービス施設のサービスの質の向上により施設稼働率の向上に努め、積極的な営業活動を展開したことで登録利用者数が堅調に推移いたしました。また、福岡県北九州市に「あおぞらの里 鳴水デイサービスセンター」を新規開設いたしております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25億53百万円、セグメント利益は3億74百万円となりました。

② 施設サービス事業

当セグメントにおきましては、既存の有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めました。また、宮城県仙台市に「ラ・ナシカ せんだい」と、神奈川県横須賀市に「ラ・ナシカ よこすか」を新規開設いたしております。さらに、有料老人ホーム2施設を運営する株式会社パイン(本社：福岡県福岡市)を買収いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は40億17百万円、セグメント利益は5億73百万円となりました。

③ 在宅サービス事業

当セグメントにおきましては、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりました。その一環として、山口県下関市の「あおぞらの里 下関ヘルパーステーション」を福岡県北九州市の「あおぞらの里 小文字ヘルパーステーション」へ統合いたしております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億76百万円、セグメント利益は6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、117億37百万円となりました。この内訳は流動資産合計26億91百万円、固定資産合計90億46百万円となっております。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、103億38百万円となりました。この内訳は流動負債合計38億82百万円、固定負債合計64億56百万円となっております。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、13億98百万円となりました。この主な内訳は資本金4億32百万円、資本剰余金3億8百万円、利益剰余金6億58百万円となっております。この結果、自己資本比率は11.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月2日に公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成23年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	795,836
売掛金	1,671,197
有価証券	85,568
その他	143,758
貸倒引当金	△5,203
流動資産合計	2,691,158
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	2,158,290
土地	1,635,668
リース資産(純額)	2,672,130
その他(純額)	414,235
有形固定資産合計	6,880,325
無形固定資産	171,091
投資その他の資産	
投資有価証券	19,964
敷金及び保証金	1,630,284
その他	347,553
貸倒引当金	△3,208
投資その他の資産合計	1,994,592
固定資産合計	9,046,009
資産合計	11,737,168

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成23年12月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	147,378
短期借入金	2,258,000
1年内返済予定の長期借入金	652,654
未払法人税等	95,950
賞与引当金	48,646
その他	679,409
流動負債合計	3,882,038
固定負債	
長期借入金	2,776,898
長期預り保証金	236,182
退職給付引当金	233,509
リース債務	2,841,167
その他	368,525
固定負債合計	6,456,282
負債合計	10,338,320
純資産の部	
株主資本	
資本金	432,280
資本剰余金	308,030
利益剰余金	658,560
株主資本合計	1,398,870
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△22
その他の包括利益累計額合計	△22
純資産合計	1,398,848
負債純資産合計	11,737,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,148,009
売上原価	6,275,507
売上総利益	872,501
販売費及び一般管理費	479,384
営業利益	393,117
営業外収益	
受取利息	7,181
助成金収入	118,463
雑収入	16,480
営業外収益合計	142,125
営業外費用	
支払利息	131,113
雑損失	20,173
営業外費用合計	151,286
経常利益	383,955
特別利益	
固定資産売却益	43,105
特別利益合計	43,105
税金等調整前四半期純利益	427,061
法人税、住民税及び事業税	160,891
法人税等調整額	60,459
法人税等合計	221,351
少数株主損益調整前四半期純利益	205,710
四半期純利益	205,710

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	205,710
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	18
その他の包括利益合計	18
四半期包括利益	205,728
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	205,728

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	デイサービス事業 (千円)	施設サービス事業 (千円)	在宅サービス事業 (千円)	合計 (千円)
売上高	2,553,623	4,017,592	576,792	7,148,009
セグメント利益	374,895	573,060	6,670	954,627

(注) 上記セグメント利益の金額には、下記の「介護職員処遇改善交付金」の金額が含まれております。

デイサービス事業	45,986千円
施設サービス事業	66,990千円
在宅サービス事業	3,494千円
合計	116,472千円

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	954,627
全社費用(注1)	△445,037
「介護職員処遇改善交付金」の調整額(注2)	△116,472
四半期連結損益計算書の営業利益	393,117

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. 「介護職員処遇改善交付金」は、営業外収益の「助成金収入」に計上しておりますが、これに対応する費用が売上原価に計上されているため調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「施設サービス事業」セグメントにおいて、平成23年10月3日付けで株式会社パインの発行済全株式を取得し、同社を連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては93,525千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。